

2022年度前期 授業に関する学部・学科・センター自己点検・評価

2022年度前期は、計669科目について自己点検・評価が行なわれました。教員は、学生による授業評価アンケート結果を基に、担当授業の自己点検・評価票を作成し、①学生の学修状況（到達度と課題）や指導・支援の課題、②各科目の学位授与の方針（DP）、教育課程編成・実施の方針（CP）、カリキュラムマップ上の位置づけについての意見、③ICTの導入・活用等の授業改善の取り組みを報告しました。これらの報告は、学部・学科・各教育センターで取りまとめ、学部長・学科長・センター所長から点検コメントが提出されました。

今回の点検コメントからは、教育実践における改善活動の成果として、本年度のFD委員会の年間目標に掲げた、「授業でのICTの活用促進」の成果が全学的に見られる結果となっていました。一方で、今後の検討が望まれる点として、コミュニケーションを含む対人スキルの育成と、大学での学びに必要な基礎知識を復習するための新入生向けリメディアル科目の設定が挙げられました。また、授業改善に向けてFD委員会や大学に求める支援として、授業評価アンケート実施に関する提案、施設・設備などの教育環境整備に関する要望や、授業の内容や運営に関する意見が寄せられました。これらの点検コメントの内容は、FD委員会から教学委員会に報告され、「授業改善に向けて大学に支援を要請する点」については、全学的な対応が進められることになりました。

2023年2月

FD委員会委員長 片平 理子